

独立行政法人国立公文書館温室効果ガス削減計画の実施状況について（2023年度）

独立行政法人国立公文書館がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画（令和5年3月29日独立行政法人国立公文書館長決定）に基づき、2023年度の実施状況について公表する。

温室効果ガスの総排出量に関する目標

当館の事務及び事業に伴い直接的及び間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を2023年度から2030年度までの各年度において、基準年度とする2021年度を上回ることがないように努める。

1. 温室効果ガス削減計画

		(単位)	2021年度	2023年度	2030年度目標
公用車燃料		kg-CO2	2,064	2,290	2,064
施設のエネルギー使用		kg-CO2	763,529	573,182	763,529
電 気	電気	kg-CO2	480,213	328,330	480,213
	(電気使用量)	kWh	1,015,639	1,083,185	1,015,639
	(電気の排出係数)	kg-CO2/kWh	(本館)0.474 (分館)0.464 (アジ歴)0.546	(本館)0.298 (分館)0.298 (アジ歴)0.408	(本館)0.474 (分館)0.464 (アジ歴)0.546
電気以外（ガス）		kg-CO2	283,316	244,852	283,316
合計		kg-CO2	765,593	575,472	765,593

2. 温室効果ガス削減対策及び目標

		(単位)	現状	2030年度目標
設置可能な建築物における太陽光発電の設置割合（件数ベース）		%	— (2023年度設置件数：0件)	30
公用車に占める電動車の割合		%	100 (2023年度)	100
LED照明の導入割合		%	60 (2023年度)	70
調達する電力に占める再生可能エネルギー電力の割合		%	29 (2023年度)	60